

東京海上日動

小さな代理店のお客様はいららないというのか



石原会長、隅社長は
本当にお客様を大事
と思っているのか

08年3月期決算でも抜群の業績をあげた日本一の損害保険会社。ホームページには「他の追随を許さない圧倒的なリーディングカンパニー」と自らを誇示しています。その政策の根幹が巨額を投じる「抜本改革」。これにより、新たなシステムを導入できない代理店は自立の道は断たれるといわれています。隅社長は経済紙のインタビューで「業務品質の最低基準も達成できない代理店さんは(店を)整理していただく」、「自然と淘汰されていく」と明言。「抜本改革」なる政策が、代理店の淘汰と一体であることを隠していません。小規模な代理店には、電話での問い合わせもさせないという冷たい対応もしているとのこと。しかし、その問い合わせとはほかならぬお客様からのものです。小規模な代理店のお客様は必要ないとでも言うのでしょうか。自らの政策に従わないもの、採算が悪いものは情け容赦なく切り捨てるという態度は許されません。

巨額の利益をあげながら、もつと儲けようと一人残らず外勤社員を切り捨てる日本一の損害保険会社。あまりのひどさに、昨年三月、東京地裁も会社を断罪しましたが、その判決にも従いません。この暴挙をやめさせるため、私たちは、六月二三日のミレアホールディングス株主総会に出席し、経営の責任を追及します。

**東京地裁の判決を守れ
外勤社員切捨てをやめよ
労使紛争をただちに解決せよ**

抗議先

東京海上日動火災保険株式会社

〒100-8050 東京都千代田区丸の内一丁目2番1号

電話 03-3212-6211

全日本損害保険労働組合
全損保日動外勤支部

外勤社員切捨てをやめよ 株主総会1週間総行動
ただちに労使紛争を解決せよ

東京海上日動

「そんなの関係ない」は通用しない

自衛隊イラク派遣を違憲と断じた名古屋高裁判決に「そんなの関係ねー」とうそぶいた自衛隊関係者がひんしゆくをかっています。コンプライアンス(法令遵守)が求められ、厳しい競争にさらされる企業が同じことを言えば、市場から脱落しかねない暴言です。だから、トヨタやマクドナルドをはじめ多くの企業が、地裁判決ができれば、控訴せず、自らの過ちを認め、政策を転換しています。それにもかかわらず、東京地裁に断罪されても、その判決に逆らい、外勤社員の切り捨てを強行する東京海上日動。900人以上いた外勤社員のうち、850人以上を追い出し、なお、残された50人弱の外勤社員を1人残らず切り捨てようという日本一の損害保険会社の姿に、社会的批判が高まっています。



もう古い。いまでは
判決守らない会社はバッシングです。

私たちのたたかいをご支援下さい

巨額の利益をあげる日本一の損害保険会社が、もっと儲けをあげたいからと、労働者の雇用に手をかけることが許されるのでしょうか。私たちの要求は、これまでどおり、お客様に保険を販売する外勤社員を続けさせてほしいということだけです。会社の横暴をやめさせ、要求を実現するため、全力でたたかいます。ご支援をどうかよろしくお願いします。

判決、命令内容など詳細は
ホームページをご覧ください

<http://www.niu.or.jp/nichidogai/>

<http://www.geocities.jp/nichidogaikin/>もご覧下さい

全日本損害保険労働組合
全損保日動外勤支部

東京都中央区新富1-6-1京橋第5長岡ビル4階
03-3551-7131